

森林総合産業特区の主な取組実績 (H28~R2)

循環型森林経営の推進

H28~: 町有林・私有林の循環型森林経営を推進

下川地域森林整備推進協定の推進

H28~: 国有林との共同施業団地の推進、路網接続1箇所
H28~: 国有林材等の安定供給システム販売への応募
R2~: 原木ストックヤード民国共同整備 (5,000㎡)

林内路網の高密度化

H28~: 路網拡大(路網密度H28:48.1m/ha→R1:48.8m/ha)

森林資源量解析システムの高度化

R1~: UAV(ドローン)を導入、森林施業地の空撮画像のリアルタイム更新等

スマート林業の推進(スマート林業EZOモデル構築協議会)

R1~: ICTハーベスタ最適採材、木材検知作業の省略化等

北方人工林施業に適した低コスト生産システム開発

H28~: 森林総研との共同研究(クラッシャー地拵え、低密度・大苗・コンテナ苗植栽等技術開発)

高性能林業機械の導入 H28~R2: 計15台

(H28:4台、H29:3台、H30:4台、R1:2台、R2:2台)

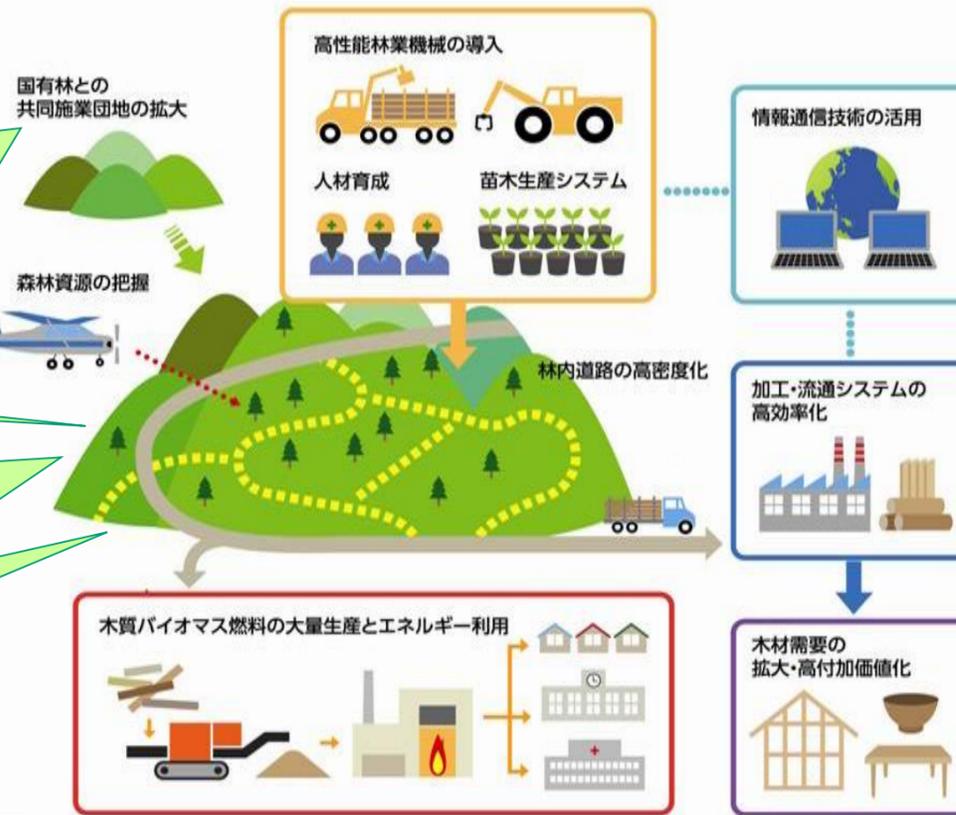
林業・林産業人材確保支援事業

H28~: 旭川農業高等学校森林科学科の学生(1~3年生)森林施業実習、2年生のインターンシップ
R2~: 北海道立北の森づくり専門学院開校
R3から2年次の地域実践実習の拠点として受入開始

エネルギー資源作物成長量調査(森林総研共同研究)

H28~R1: ヤナギ栽培技術開発、成長量・収穫手法等調査
※13年間の調査で一定の成果が見えたためR1で終了

●林業・林産業・森林バイオマス産業の一体化



経済
(森林総合産業)

良質な生活

環境
(エネルギーの自給)

社会
(誰もが活躍・安心)

森林文化創造、森林とのふれあい

H28~: 町民植樹祭、林業体験バスツアー
H28~: 森林環境教育、美桑が丘体験事業
H28~: 森ジャム、EZOCOP(チェンソーアート国際大会)

山村活性化支援交付金事業(主体:町)

H28~29: 広葉樹材等の利用発掘、森林バイオマス原料供給体制構築、木灰の地域内循環利用

山村活性化支援交付金事業(主体:下川町山村活性化支援協議会)

R2~R4: エゾシカのスマート捕獲・肉の利活用、規格外フルーツマト利活用、多様な森林資源利活用、森林管理のスマート化、林業人材育成

林産システム革新

H28~: 下川町林業・林産業研究会
H28~R2: 生産流通体制強化施設整備 計34件
(H28:6件、H29:7件、H30:7件、R1:8件、R2:6件予定)

誘致企業と連携した新木材活用可能性調査事業

H28~: トドマツ材や広葉樹材を中心とする木材低温乾燥技術の開発・加工、市場調査、普及啓発

小規模分散型再生可能エネルギー供給システム整備

R1: 家畜糞尿バイオガス発電(150kW)、水力発電(1,100kW)、森林バイオマス熱電併給(発電1,815kW、熱2,860kW)

小規模分散型再生可能エネルギー供給システム整備

H28: 一の橋地区地域熱供給システム効率化改善調査、H29: 実施設計、R1: 効率化改善工事・運用開始
H29: 森林バイオマス地域熱供給システム面的拡大可能性調査
H30: 再生可能エネルギー導入促進ロードマップ策定
R1: 非常時における地域への電力供給可能性調査
R1: 地域間交流施設熱供給面的拡大実施設計、R2: 面的拡大工事・運用開始